



(公財)水道技術研究センター
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-8-1
虎ノ門電気ビル 2 F
TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215
E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL <http://www.jwrc-net.or.jp>

公募型実証研究支援事業(A-IDEA) 実証フィールドにおける現場見学会(京都)について(御案内)

当センターでは、平成 28 年度から水道技術の研究開発に取り組む企業に対し、実証研究を行う実フィールドの確保及び実証研究への指導・助言を行うことで、水道技術の向上と普及を促進し、水道事業が抱える課題解決につなげることを目的といたしまして、公募型実証研究支援事業を行っております。

この度、支援対象企業である住友重機械エンバイロメント(株)から、現在実証研究中の内容について広く知っていただきたいとの申し入れがあり、水道事業体の職員を対象とした現場見学会を開催する運びとなりました。

つきましては、御多忙中誠に恐縮ではございますが、貴関係職員の参加につきまして、御高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 日 時：平成 30 年 12 月 11 日 (火) 13 時 30 分 ～ 16 時 30 分
2. 場 所：京都市上下水道局(本庁舎別館 1 階大会議室)及び実証フィールド現場
会議室住所：〒601-8004 京都市南区東九条東山王町 12
※ 詳細は下記「実証フィールド現場見学会(京都)プログラム」を参照してください。
<http://www.jwrc-net.or.jp/chousa-kenkyuu/a-idea/1211program.pdf>
3. 参 加 費：無料
4. 参 加 対 象：水道事業体職員
5. 募 集 人 数：50 名程度(定員になり次第締め切らせていただきます)
6. 実証研究内容：概要は 2 ページ以降を参照してください。
7. 申込み方法：「申込書」に必要事項をご記入していただき、FAX 又は E-mail にてお申し込みください。
様式は[こちら](#)
8. 申込み締切日：11 月 28 日 (水) ただし、申込者数が定員に達した場合は、締切日に限らず募集を締め切らせていただきます。
9. 見学会の詳細
詳細は、センターの下記ウェブページをご覧ください。
<http://www.jwrc-net.or.jp/chousa-kenkyuu/a-idea/kengaku1211.html>
10. 問い合わせ・申込先
公益財団法人 水道技術研究センター 調査事業部 A-IDEA 担当
TEL：03-3597-0214 FAX：03-3597-0215 Mail：a-idea@jwrc-net.or.jp
※ 当センターでは、12 月に事務所移転を予定しております。移転先につきましては HP 等でお知らせいたしますので、12 月以降にセンターに連絡する場合は、移転先の事務所に連絡を御願います。

住友重機械エンバロメント(株)による実証研究概要（平成 28 年度公募）

1 テーマ

配水管末端での管理排水自動制御による配水管網内水質管理効率化実証研究

2 概要

この実証研究は、給水人口の減少や水道事業の統合・広域化などによる給水区域の拡大に伴う配水管内の滞留時間の増加により、水質劣化が懸念される末端において、配水水質や圧力等の異常監視に加え、監視結果に応じた管理配水自動制御装置による効率的な配水管網内水質管理方法の適用を検証することを目的としています。

現在、京都市様（図-1）と八戸圏域水道企業団様の 2 箇所において「管理排水型水質自動監視装置（毎日検査対応型）」を設置し、本装置における「機器の信頼性」「装置の有効性」「水質管理業務の効率化」などを検証しています。配水管網内の水質管理を自動化することで、配水管末端の水質の常時監視が可能となるとともに、配水管網内の滞留水による水質劣化の解消や、技術職員による水質測定や排水作業の省力化を図ることができ、水道システム全体の信頼性を高めることが期待されます。

京都市給水区域



主な幹線配水管（市街地）



図-1 実証フィールド案内図

3 装置「スマフロプラス SMF-P01」（住友重機械エンバロメント(株)製）

この装置は、水道法施行規則第 15 条に定められた毎日検査（色、濁り、残留塩素）に適合する水質監視装置に、配水管網内の水質管理に必要な管理排水を自動制御する機能を付加した「管理排水型水質自動監視装置」です。



装置「スマフロプラス SMF-P01」

4 スケジュールについて

	赤:実績 青:予定	平成29年度												平成30年度												備考													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3														
フイールド	通水試験																																						
	試運転																																						
	データ収集、検証期間																																						
	追加試験（騒音検証）																																						
	撤去・原状復帰																																						
JWRC	第1回実証支援委員会（A-IDEA）																																						
	第2回実証試験委員会（A-IDEA）																																						
	第3回実証支援委員会（A-IDEA）																																						
	水道事業体向け現地見学会（八戸）																																						
	水道事業体向け現地見学会（京都）																																						
	第4回実証支援委員会（A-IDEA）																																						
	まとめ・評価																																						

5 適用事業例

本技術の実用化により従来の水質自動監視装置（水質モニター）では実現が難しい水質の自動管理が可能となり、以下のような水道事業体様の課題解決にお役にたてるものと考えています。

- 1) 遠隔管理地域水質管理業務省力化
広域化、簡水統合、未普及地域解消等の事業により発生する遠隔管理地域の水質管理業務省力化
- 2) 毎日検査業務受託者不足対策
過疎化、高齢化等による毎日検査受託者不足対策としての自動化
- 3) 配水地域内残塩濃度適正化
塩素添加設備（浄水場、配水池等）近傍と管末近傍との残留塩素濃度乖離解消
- 4) 無収水量適正化
残留塩素確保のための管末ドレンに伴う無収水量を必要最小化
- 5) 配水管凍結防止
水温による管理排水コントロールによる配水管内流動化

(担当) 調査事業部

○ 配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F（公財）水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

※ 当センターでは、12月に事務所移転を予定しております。移転先につきましてはHP等でお知らせいたしますので、12月以降にセンターに連絡する場合は、移転先の事務所に連絡を御願いたします。

○ 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h30.html>

○ 水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。